

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

小児(科)患者におけるインフルエンザワクチンの効果

【目的】

インフルエンザワクチンはインフルエンザ予防の基本ですが、その予防効果は一定ではありません。この研究は、ワクチン接種の有無と罹患状況を比較することで、インフルエンザワクチンの有効性とを検証することを目的として行います。また、あわせて COVID-19 ワクチンについても検証し、両ワクチンの効果を比較します。

【対象】

2013年11月20日～2028年9月までの間に、当院小児科へインフルエンザ診断・治療のために受診し、インフルエンザの迅速抗原検査または PCR 検査を受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師がデータを調査票へ入力し、電子メールにて送付します。送付された情報は研究代表者の所属する慶應義塾大学医学部小児科学教室で管理・保管され解析を行い、学会発表や論文として公表されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は、特定の個人を識別することができない状態で利用しますので、お名前などの情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（性別、年齢、基礎疾患、痙攣の既往、ワクチン接種回数（COVID-19 などのその他の疾患のワクチン情報も含む）、集団生活状況、症状の経過、異常行動の有無、発熱から受診までの時間、臨床検査結果、治療薬、入院の有無、ワクチン接種後罹患までの期間、インフルエンザ罹患の既往歴、前年度のワクチン接種歴 等）

【試料・情報の取得方法】

診療記録より収集

【研究期間】

2013年11月20日から2028年9月30日まで

【研究組織】

研究代表者：けいゆう病院 小児科 菅谷 憲夫、慶應義塾大学医学部小児科 新庄 正宜

【研究実施機関】

慶應義塾大学病院、けいゆう病院、横浜市衛生研究所
太田記念病院、国立病院機構栃木医療センター、済生会宇都宮病院、足利赤十字病院、佐野厚生病院
さいたま市立病院、国立病院機構埼玉病院、東京歯科大学市川総合病院、国立病院機構東京医療センター
永寿総合病院、東京都済生会中央病院、東京都立大塚病院、立川共済病院、日野市立病院
横浜市長市民病院、横浜労災病院、川崎市立川崎病院、日本鋼管病院・こうかんクリニック
平塚市民病院、平塚共済病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、成育医療研究センター

【当院の研究責任者】

横浜市長市民病院 小児科 亀井 聡信

【試料・情報の提供を行う機関情報】

横浜市長市民病院 病院長 小松 弘一

【連絡先】

横浜市長市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号
電話 045-316-4580（病院代表） 小児科 亀井 聡信

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。

ver.2.0 2022年12月2日